

関連学術集会のご案内

1. 第12回 カルノシン・アンセリン研究会

日 時：2020年5月16日（土）18:30～20:30

会 場：E会場（B101）

内 容：本研究会は機能性ペプチド「カルノシン・アンセリン」に関する研究発表および研究講演を行っております。抗疲労作用や抗糖化作用を持つカルノシン・アンセリンについてご興味のある方のご参加をお待ちしております。

入場無料、事前登録は不要です。

代表者：西村敏英（女子栄養大学：世話人代表）

江草 愛（日本獣医生命科学大学：事務局）

連絡先：E-mail：a-egusa@nvlu.ac.jp

2. スポーツ栄養学研究会

日 時：2020年5月16日（土）18:30～20:30

会 場：F会場（B102）

内 容：mTORC1を介した骨格筋タンパク質代謝の調節

骨格筋量を保持することはスポーツパフォーマンスの向上のみならず、生活習慣病の予防においても重要である。骨格筋をはじめ細胞におけるタンパク質合成はmTORC1（mammalian target of rapamycin complex 1）によって調節されている。本研究会では、骨格筋に対するメカニカルストレスや栄養素がmTORC1を介したタンパク質合成に及ぼす影響について、実験動物および培養細胞から得たデータを中心に紹介する。

演 者：中井直也（滋賀県立大学）、村上太郎（至学館大学）

代表者：岡村浩嗣

連絡先：〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1-1 大阪体育大学運動栄養学

TEL：072-453-8839 E-mail：okamura@ouhs.ac.jp

3. 栄養学若手研究者の集い

日 時：2020年5月16日（土）18:30～20:30

会 場：G会場（B103）

内 容：近年、慢性腎臓病患者数の増加が大きな問題となっています。しかし、その発症メカニズムについては不明な点も多いのが現状です。そこで、慢性腎臓病とアミノ酸代謝に焦点を当て、最近の研究成果をご紹介しますとともに、食品成分によって慢性腎臓病の予防・改善が可能なのかについて考えてみたいと思います。

演 者：小林謙一（ノートルダム清心女子大学人間生活学部 教授）

「腎」を守る機能性食品成分の創出を目指して

代表者：井上博文（東京農業大学・助教）

連絡先：E-mail：wakateeiyo.info@gmail.com

4. コラーゲンペプチド研究会

日 時：2020 年 5 月 16 日（土）18:30 ～ 20:30

会 場：H 会場（B104）

内 容：コラーゲンペプチドの機能、代謝・吸収と作用メカニズムの研究成果を報告する。
その後それぞれの話題について、今後の研究の方向性を議論する。今回は最新のコ
ラーゲンペプチドの特定の線維芽細胞に対する作用、コラーゲンペプチドの臨床応
用の可能性、脳神経系への作用についての講演を行う。

演 者：浅井智子（奈良女子大学 生活環境学部食物栄養学科 助教）

間葉系幹細胞マーカー p75NTR 陽性のマウス皮膚線維芽細胞は Pro-Hyp を取り込
み増殖するコラーゲン由来ペプチドの創傷治癒促進効果

伊賀瀬道也（愛媛大学大学院医学系研究科 抗加齢医学（新田ゼラチン）講座教授）

リアルワールドにおけるコラーゲンペプチドの大いなる可能性

水重貴文（宇都宮大学農学部応用生命化学科 生物化学研究室 准教授）

コラーゲンペプチドが脳神経系に及ぼす影響

代表者：佐藤健司（京都大学大学院農学研究科）

連絡先：TEL：075-753-6444 FAX：075-753-6400

E-mail：kensato@kais.kyoto-u.ac.jp